

無収縮超速硬繊維入り ポリマーセメントグラウト リフレグラウトFPスーパー

無収縮超速硬繊維入りポリマーセメントグラウト リフレグラウトFPスーパーの特長

- ▶ 超速硬の無収縮モルタルであり、時間単位で強度が発現するため時間的制約下または交通開放しながらの施工等、緊急工事に最適です。また長期強度も安定して発現します。
- ▶ 所定水量範囲での混練により安定した無収縮性を維持し、構造物間の荷重伝達を行います。
- ▶ 流動性に優れ、ハツリコンクリート等の複雑な形状・空隙も隅々まで充填させることができます。
- ▶ プリーディングが全く発生しないため、充填後の空隙を残す心配がありません。
- ▶ 特殊短繊維を混入したフィルコンSスーパー(繊維入り)に特殊ポリマーが混入されているため、モルタルの表面乾燥によるひび割れ抑制に効果を発揮します。

リフレグラウトFPスーパーの施工要領概要

前準備

- ▶ 混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
- ▶ 混練機：ハンドミキサー・グラウトミキサー等の高速回転型をご用意ください。手練りによる混練はできませんのでご注意ください。**アルミの羽根、容器は決して使用しないでください。**
- ▶ その他：必要に応じ、モルタルポンプ・計量器・バケツ・コテ等。
- ▶ 清掃：打設箇所表面のレイタンス・油分・塵芥等を除去し、必要に応じてチップング・プライマ処理等を行ってください。

施工

- ▶ 混練：混練は右図に従い、十分な攪拌を行ってください。
- ▶ 注入：注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的に行います。また、パイブレタ等による振動締固めは不適切です。
- ▶ 仕上げ：一般的には木ゴテ・金ゴテ仕上げを行います。
- ▶ 養生：リフレグラウトFPスーパーの硬化過程では、急激な水和反応により著しい発熱が生じます。打設直後から固まるまでの間は、薄いビニールを表面に密着させて養生すると、初期の表面ひび割れ防止に有効です。硬化体が常温に戻った後に散水養生等を行うことは耐久性向上に対して有効です。

保管

- ▶ 開封後：開封後は密封して保管できますが、袋単位で使い切るようにしてください。
- ▶ 積置き：屋内保管を原則とし、降雨・湿気等からなるべく遮断してください。



本製品は、粉末ポリマーと短繊維調合済みのプレミックス品です。水を加えて練り混ぜるだけで所定の性能が得られます。

荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

配合例

配合	水材料比 (%)	単体量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		リフレグラウト FPスーパー	水	
示方	18.0	1875 (75袋)	338	約1000
袋		25 (1袋)	4.5	約13.5

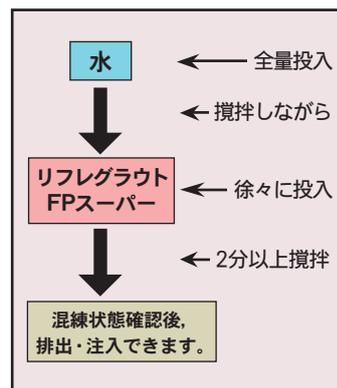
- 注1) 気温等により水量は多少変動(4.1~5.0kg/袋程度)します。使用前には必要に応じて試験練りを行い、水量・流動性・強度等を確認してください。
- 注2) 可使時間は15~35分程度に調整されていますが、現場の施工条件によって変動することもありますので必ず事前に試し練りを行って確認をしてください。必要に応じて遅延剤もご用意しておりますので、メーカーにお問い合わせください。
- 注3) 水材料比を調整することで勾配部の施工にも対応可能です。詳細はメーカーにお問い合わせください。

リフレグラウトFPスーパーのタイプ

リフレグラウトFPスーパーは通年安定した性能を発揮させるため、気温に応じた2タイプをご用意しております。施工時期・施工条件等をご検討のうえ、適切なタイプを選択してください。

タイプ	適用	選定基準
S	標準期・暑中用	練上り温度15~35℃
W	寒中用	練上り温度5~20℃

混練手順



混練状況



リフレグアウトFPスーパーの性能一例

流動性

- 試験方法：JSCE-F541に準拠
- 管理値：練上り直後において 9 ± 3 秒
- 測定値：右グラフを参照 →

ブリーディング

- 試験方法：JSCE-F533に準拠
- 管理値：練上り3時間後において0%
- 測定値：練上り3時間後およびこれ以降もブリーディングは発生しません。

膨張収縮

- 試験方法：JSCE-F542に準拠
- 管理値：材齢7日で収縮を示してはならない。
- 測定値：材齢7日において膨張側にあり、収縮は認められない。

圧縮強度

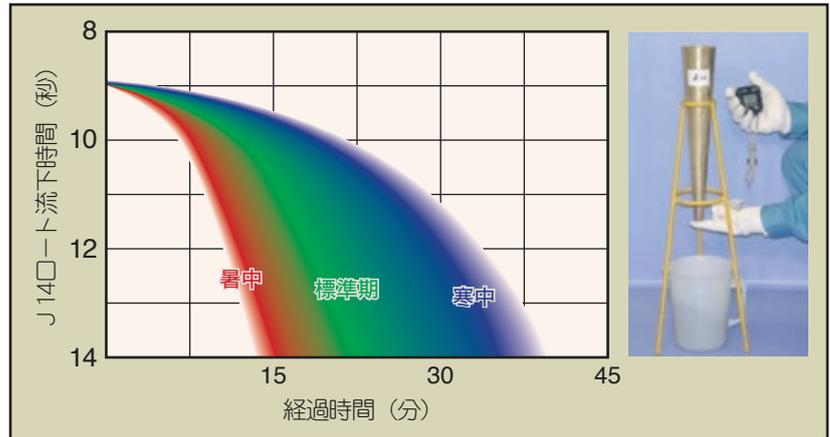
- 試験方法：JSCE-G505に準拠
- 管理値：材齢28日で 36 N/mm^2 以上
- 測定値：右グラフを参照 →

※物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。

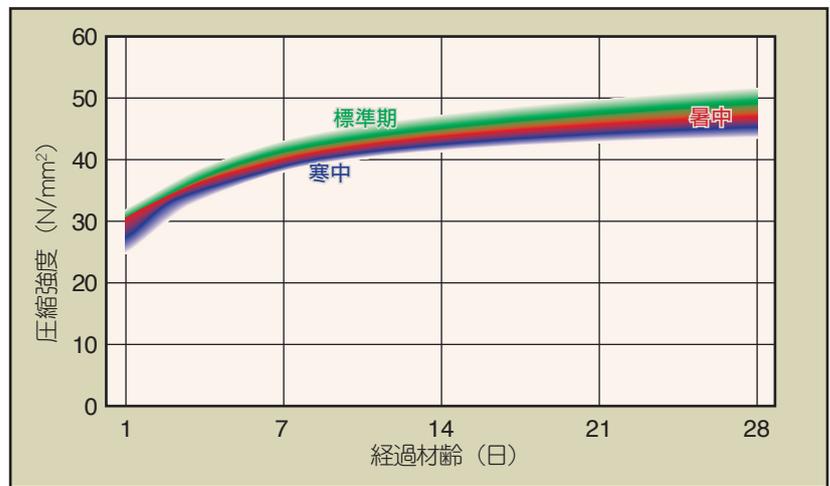
取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

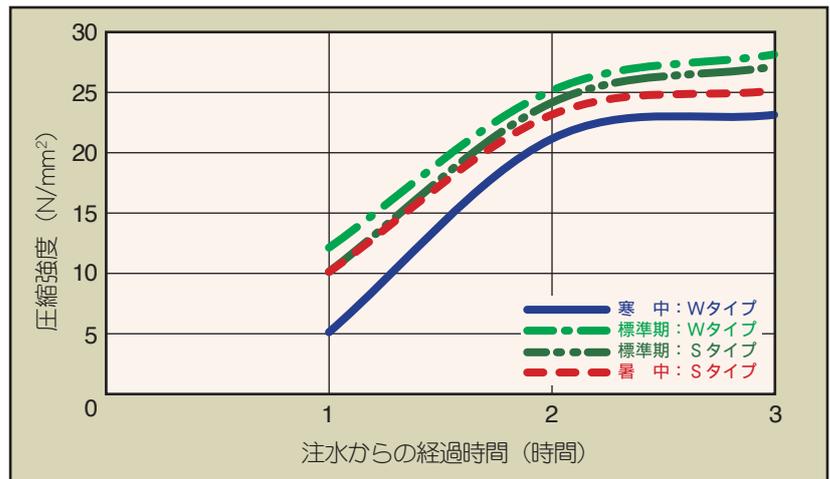
流動性の測定例



圧縮強度の測定例



材齢3時間以内の圧縮強度発現



使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三條西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は